

2024 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 ハーモニークラブ.....

代表者・役職名 氏名 代表 伊東伸浩.....

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクトの名称

夢を飛ばせ、明日を奏でろ！」夢灯(ゆめあかり)

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

10 年前に地域の活性化を図り、多摩市諏訪地区の有志 10 名ほどでハーモニークラブを結成。小学校や集会所を借りての誰でも食堂や映画会、講演会などのイベントを開催している。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

多摩市諏訪地区は都営団地を中心とする、充足している家庭が多いとは言い難い。片親、外国籍世帯などが多い。団地は築 50 年を超え、商店街には多くのシャッターが降りて、元気がない日常が流れる。そんな中、住人同士のコミュニケーションや活性化を図り活動をしている。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

100 人のこどもが、夢を文字や絵に託して、50センチ四方程度のバルーンに思い思いに描く。それを夕暮れから夜間にかけて100個、LED ライトとヘリウムガスを注入して、紐をつけた状態で空に浮かべる。いわば夜間に輝く風揚げの状態。バルーンは各家庭に持ち帰る。同時に、夢を追う大人の象徴として、地域を中心に活動しているミュージシャンによるライブを展開する。カッコいい大人を見せ、メッセージを発信させることで、「家族丸ごとで楽しめる明日への希望」を演出。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT. 実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME. 事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT. 事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

当日は強風と寒波で生憎の天候だった。にも関わらず 1000 人弱の参加者で賑わった。地域の老若男女、多様な方々が訪れ、楽しんでくれた。団地は少子高齢化の最前線、活気のない商店街もシャッター街と化しているが、きっかけやエボックによっては画期に溢れる証明ができた。規模の代償にこだわらず、何かしらの発信を続けることの意義を再確認できた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

自立した上での継続が課題。積極的な参加者の他に、延べにしての集客数(通りすがりで立ち止まった方々?)としては 1000 人近くに達していた。少額でも参加費を取れる仕掛けを考え、継続を心がけたい。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、「必ず」、別途、ご提供ください。

